



第92期 報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

The Way Of Mutual Progress

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は80年の時空を越えて全社員の中に生き続き、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念 共々の道

社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

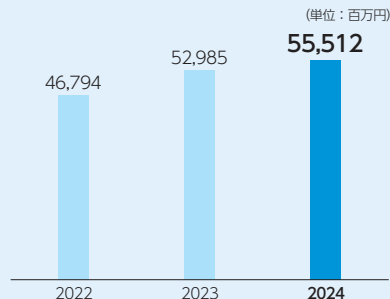
さて、当社第92期の事業の概況についてご報告申し上げます。



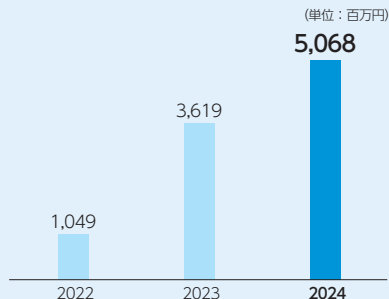
代表取締役社長
有坂 昌規

連結財務ハイライト

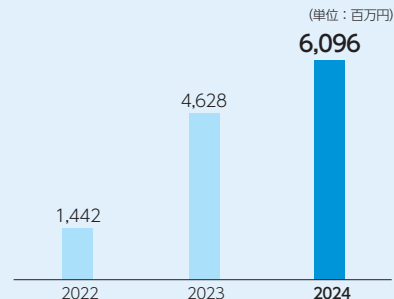
売上高



営業利益



経常利益



事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国新政権の関税政策による影響、中国経済の低迷、長期化する海外の紛争など先行きが不透明な状況が続いております。また日本経済においては、米国の政策動向や海外景気の下振れリスクが我が国の実体経済に与える影響に十分注意していく必要があります。

このような状況下、当社においては、今年度よりスタートさせた中期経営計画『EXPLORER PLUS』のもと、安定成長と収益性の向上に取り組んでおります。主要顧客である自動車メーカー・自動車部品メーカー向け製品につきましては、様々なコスト上昇要因に対する採算の確保に取り組むとともに、EV化・顧客のESG志向の進行を見据えた新製品の拡販・投入を推進しております。非自動車分野につきましては、需要増が見込まれる航空機分野の拡大や、新商材であるヒカリアクション・自己修復性素材の事業化といった長期テーマにも取り組んでおります。

当連結会計年度における売上高は、日本国内における販売は伸び悩みましたが、南北アメリカが堅調だったことなどにより、前期比4.8%増の55,512百万円となりました。営業利益は、特に海外において原材料を始めとした製造コストが抑えられたことや、為替換算の影響もあって前期比40.1%増の5,068百万円となりました。経常利益は、為替差益の計上がなくなりましたが、持分法投資利益が増加したこと等により前期比31.7%増の6,096百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、関係会社株式売却益を計上したこと等により前期比43.4%増の4,315百万円となりました。

利益配分に関する基本方針 及び当期の配当

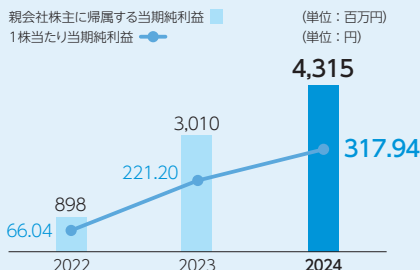
企業価値向上と持続的な成長に繋がる投資を優先的に実行することが結果としてステークホルダー共通の利益に資する考えに加え、株主に対する利益還元についても経営の重要施策とし、安定的・持続的に配当を行うことを方針とし配当性向を30%以上とします。

期末配当金につきましては、2025年3月期業績を踏まえ、68円とすることを決議いたしました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて98円となりました。

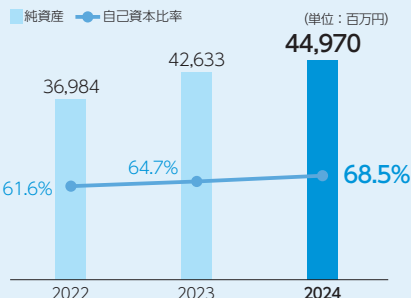
▶▶ 2026年3月期連結業績予想

	来期予想	当期実績
売上高	55,200百万円	55,512百万円
営業利益	4,100百万円	5,068百万円
経常利益	4,700百万円	6,096百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4,350百万円	4,315百万円
1株当たり当期純利益	321.87円	317.94円
年間配当金	98円	98円

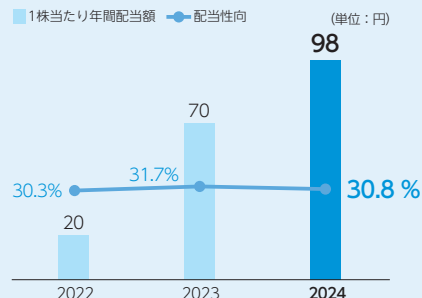
親会社株主に帰属する当期純利益／ 1株当たり当期純利益



純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当額／配当性向



○セグメント情報 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

セグメント ハイライト

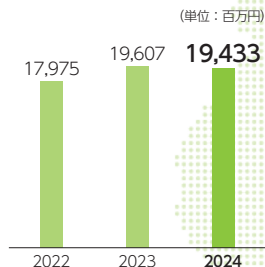
日本セグメント以外の各セグメントにおいて、販売増等により前期と比較して増収となり

日本

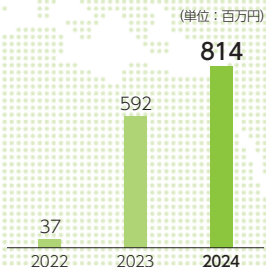
売上高構成比
35.0%

品質問題に端を発する自動車メーカーの生産減から回復が遅れたことなどによりわずかに減収となりましたが、価格改定や原価低減に努めた結果、増益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- ユシロ運送株式会社
- ユシロ・ゼネラルサービス株式会社

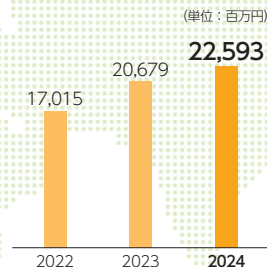
※ユシロ運送株式会社は2025年4月1日付でトランスコム株式会社に名称変更しております。

南北アメリカ

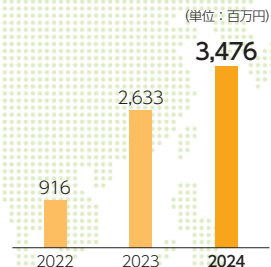
売上高構成比
40.7%

堅調なアメリカ経済に支えられ、北米、メキシコでの販売が堅調に推移したことなどにより増収となり、さらに原価低減活動などにより原材料費が抑えられたことや、為替換算の影響もあって、増益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc. [米国]
- クオリケム Inc. [米国]
- ユシロブラジルインダストリアケミカルtda. [ブラジル]
- ユシロメキシコS.A. de C.V. [メキシコ]

持分法適用関連会社 …………… 如東尤希路化学工業有限公司(中国) 汎宇化学工業株式会社(韓国) 三宜油化股份有限公司(台湾)

※如東尤希路化学工業有限公司(中国)は2025年3月31日付で連結の範囲から除外し、持分法の範囲に含めております。

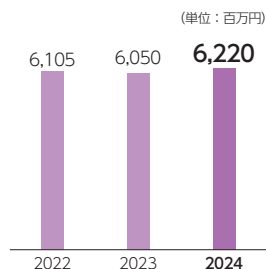
ました。また、全セグメントにおいてコスト抑制効果もあり、前期と比較して増益となりました。

中国

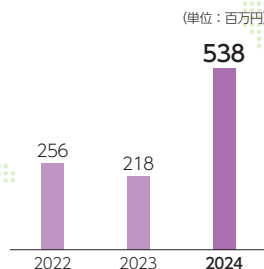


EV化の進行による日系自動車メーカーの生産台数減の影響は続いています。昨上期の底を脱してからは回復傾向にあり、固定費削減も進んだことから、増収・増益となりました。

売上高

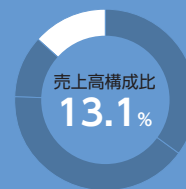


セグメント利益(営業利益)



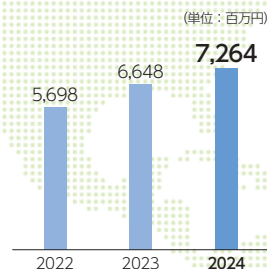
連結子会社 ● 上海尤希路化学工業有限公司[中国]

東南アジア／インド

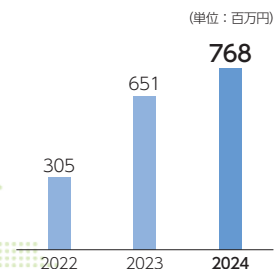


一部の地域において、ローン金利上昇等による自動車販売の低迷の影響は続いています。新規拡販や輸出の増加、原価低減の効果もあって、増収・増益となりました。

売上高



セグメント利益(営業利益)



連結子会社

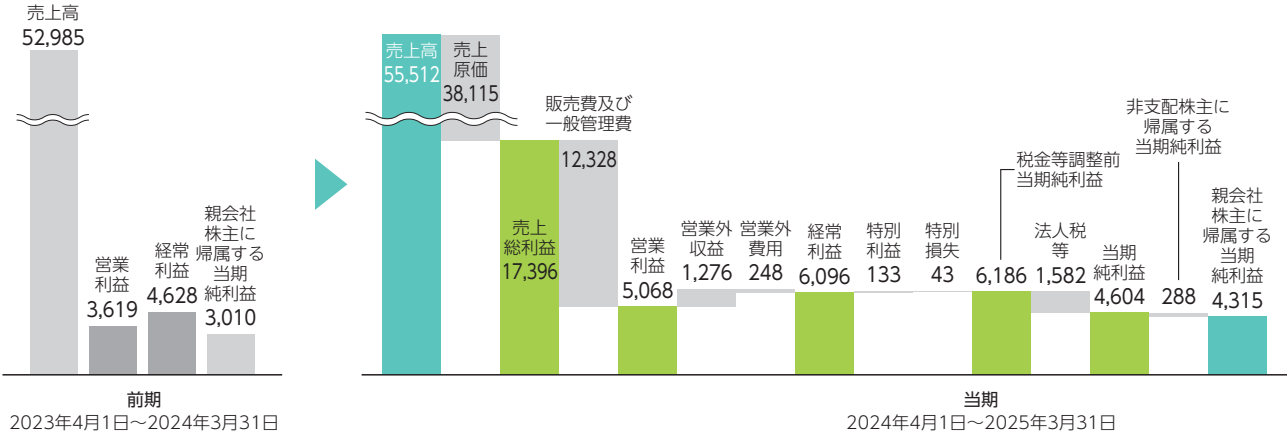
- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- サイアムシー・ビー・ケミカル Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

○連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

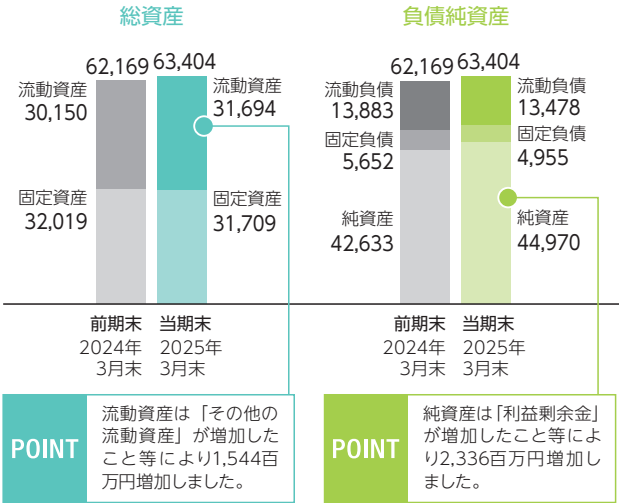
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



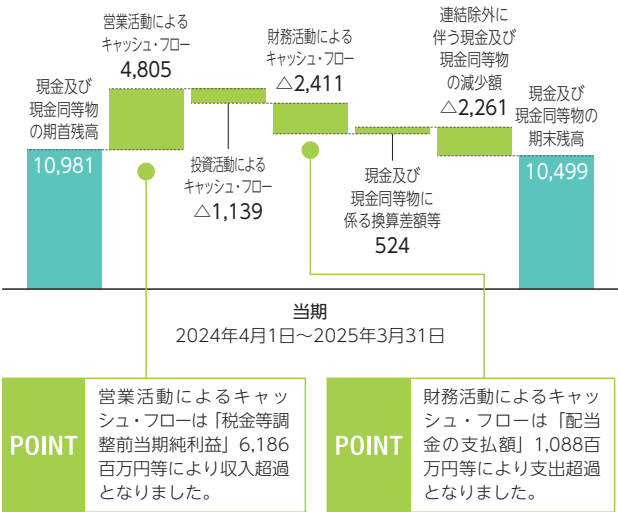
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



○ 会社概要・株式の状況 (2025年3月31日現在)

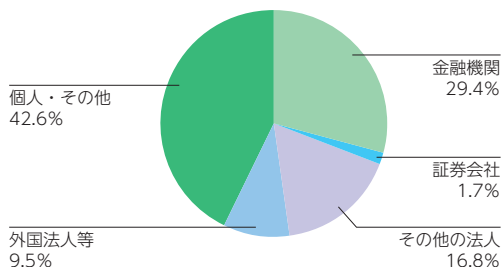
■ 会社概要

社名	株式会社ユシロ YUSHIRO Inc.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	https://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	367名(連結969名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	6,343名

所有者別株式分布状況



■ 役員 (2025年6月24日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	有坂 昌規
取締役常務執行役員	高橋 誠司
取締役常務執行役員	高倉 一利
取締役執行役員	小林 一重
取締役執行役員	石川 拓哉
取締役*	中野 雅文
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	杉山 敦子(現姓 松本)
取締役(監査等委員)	濱元 伸二

*は社外取締役です。

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,360	10.06
日本生命保険相互会社	1,057	7.82
ユシロ化学工業取引先持株会	992	7.34
スズキ株式会社	549	4.06
株式会社三井住友銀行	518	3.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	475	3.52
ユシロ化学工業従業員持株会	459	3.39
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.33
長瀬産業株式会社	243	1.80
今川和明	209	1.55

*当社は、自己株式385千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.yushiro.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

○住所変更、単元未満株式の買取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。

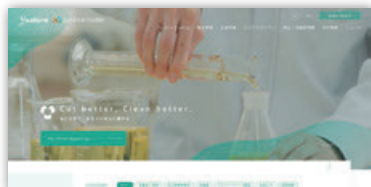
本件に関するお問い合わせ先は、左記株主名簿管理人となります。

○未払い配当金の支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の事業をよりご理解いただけるよう、事業内容に加え、技術情報、IRなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。



ユシロ

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



商号変更のお知らせ

2025年4月1日より、当社社名をグローバルにおけるプレゼンスを更に高めるため、「ユシロ化学工業株式会社」から「株式会社ユシロ」へと変更いたしました。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。